

**JASWHS** 公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
Japanese Association of Social Workers in Health Services

## 東日本大震災 MSW災害支援ニュース



### 目次

1. 新着情報①～⑥
2. 仮設住宅における医療福祉相談会の報告
3. 現地支援活動報告①②
4. 現地・事務所ボランティアの感想文

## 新着情報 ①

### <急募!>12月5日~22日の現地活動者を募集!!

現地では活動者が大幅に不足しています。ご協力をお願いいたします。

週末相談会（茶話会）担当：12月10日（土）・11日（日）を含む1泊2日以上  
12月17日（土）・18日（日）を含む1泊2日以上  
平日の活動担当（個別支援含む）  
12月5日（月）～12月22日（水）の間の平日の  
2泊3日以上

現地では、仮設住宅を対象とした土日の相談会・茶話会の開催に加え、平日は在宅避難者への個別支援が開始となり、業務が拡大しています。そのため常時3~4名の人員が必要ですが、特に12月5日~22日は活動者が大幅に不足、もしくは不在の状況です。年末のお忙しい時期とは存じますが、現地のために皆様のご協力をお願いいたします！

詳しくはボランティア募集についてのホームページをご覧くださいか、  
災害対策本部(03-3351-5038 dsstsw@jaswhs.or.jp)までお気軽にご連絡下さい。

## 新着情報 ②

### 石巻現地事務所に常駐のソーシャルワーカー募集!!

ボランティアのソーシャルワーカーはこれまで通り、平日3名、週末4名を募集し派遣を継続します。そのコーディネーター的役割を含む、現地活動の中心となる方です。「平日滞在し、週末は自宅に戻る」など体制については相談可能です。

あなたの能力を、一時期でいいので災害ソーシャルワークに投入し、東北の復興に貢献していただけませんか？！

また、お近くに適任の方がいたら、ご推薦いただければ幸いです。

協会員全員で、東北の復興を支援しましょう。

#### <連絡先>

災害対策本部 月~金：10:00から17:00 土：10:00~12:00

TEL：03-3351-5038 FAX：03-5366-1058 Mail：dsstsw@jaswhs.or.jp

担当：日本医療社会福祉協会 事務局長 中川

日本医療社会福祉協会 災害対策本部 一原 取出

## 新着情報 ③

### 事務所兼宿舍が大崎市から石巻市に変更！！

11月23日に事務所兼宿舍が大崎市から石巻市内に変更となりました。



地図



外観



玄関



キッチン



洗面所



事務所内



宿泊室

## 災害対策本部会議 議事録

2011.12.1(木) 19:00～

日本医療社会福祉協会 会議室

出席者（順不同・敬称略）

災害対策本部長：佐原

災害対策本部副部長：笹岡

現地担当者：草水・佐藤

事務所：取出（事務所ボランティア代表）・東（事務所ボランティア代表補佐）・一原（事務所担当者）

小淵（ニューズレター担当）・飯島（理事）・中川（事務局長）

欠席：武山（現地担当者）

### 1. 災害対策本部会議の開催について

災害支援の現状の把握・課題の整理・方向性についての提言・理事会での審議事項の確認のため、災害対策本部会議を正式に開催していくこととする。

### 2. 現地からの報告

#### 1) 近況

- ・現在の現地担当者の佐藤 SW が 12 月 16 日まで現地を担当し、12/12～ 新しく現地に武山ゆかり SW が現地入りします。
- ・現地では、これまでの活動に加えて、10 月中旬から、祐ホームクリニックのプロジェクトとして、「在宅避難者の個別相談」の業務がスタートしています。在宅避難者を祐ホームクリニックがスクリーニングし、フォローが必要な方に専門職（医療・心のケア・SW）がファーストコンタクトを取って必要性をアセスメントするシステムです。11 月 28 日の週は、SW の介入を要するケースが 30 件あり、そのうち継続フォローを要するケースは 3 割程度。
- ・このような、個別相談のウエイトが増えているため、人員的には平日でも最低 3 名必要となっています。

#### 2) 課題・検討事項

- ・遊楽館退所者フォロー業務は、フォローケース（1 件）の終結と委託契約の満了に伴い一旦終了とします。
- ・茶話会/相談会は、継続開催は 1 会場につき月 1 回の頻度とし、継続開催が 8 か所に増えるまでは新規開拓をしていきます。
- ・年末年始の相談会→茶話会として、12/28(水)と 1/3(火)の開催を石巻市へ相談予定です。
- ・名称の統一  
多職種への報告書を作成する場合に、日本医療社会福祉協会のソーシャルワーカーの表記の統一が必要なため、「MSW」で統一することとしました。
- ・個別の記録を電子化することとし、誰でも使いやすいエクセルでの作成を検討します。ただし、単発で活動するボランティアには、独自の判断でのシステム変更を自粛してもらう予定です。作成担当は、小淵 SW、飯島 SW です。
- ・ボランティアの必要人数は、平日・土日ともに現地担当者含み 4 名で募集します。宿泊の関係で、最大 5 名です。

- ・会員への情報発信の一環で、HP に日報を掲載することとしました。新規の活動者から、「実際にやっている行為がわかりづらい」「現地に入る際1週間前の情報しか入手できない」という意見があったためです。
- ・事務所兼宿舎のルール（業務時間・電話対応時間・掃除・喫煙・生活用品の補充など）を設けました。
- ・現地担当者の体制及び業務内容を、週休2日で、火曜は原則定休とする事としました。

### 3) 今後の現地の活動の方向性・計画

来年度も継続する方針。協会の事業として、現地・事務所共に人員を採用する。そのサポートとしてのボランティア、との認識。現地採用を積極的に行っていく予定であることを共通認識としました。石巻市仮設住宅運営管理室からは、来年度も「社会福祉士等相談支援事業」の委託打診あり、受理します。

## 3. 事務所からの報告

### 1) 近況

- ・10月から一原 SW が週3日勤務を開始しました。

### 2) 課題・検討事項

- ・事務所ボランティアの活動者が減少しています。特に、一原 SW が現地に入っている間の事務所ボランティアの数が少ないことが業務を分断しています。初台ボランティアの急な休みの際は事務局に少し負担をかけることになっています。
- ・情報発信基地としての事務所の役割を充実させるため、①ニュースレターの改良、②ホームページの改良③登録ボランティアへのメールでの情報発信、を行うこととしました。
- ・今後、各都道府県協会へ、現地の状況に合わせたボランティア募集の呼びかけを行います。
- ・ボランティア報告会 日程：1/20(金)19:00~20:30を予定します。
- ・年末年始の茶話会について、石巻市からOKが出たら事務所で活動者を募集します。また、茶話会用のティーカップ（高級感のある物）やお国自慢の品（食べ物、民芸品など）の寄付をニュースレターで募集します。

### 4. その他

- ・現地で活動するにあたり身元を証明できる物が必要であり、協会名入りのベストを10枚早急に作成。

### 5. 次回の予定：1月中旬を目処に開催予定

## ボランティア報告会

日時：2012年1月20日(金)19:00~20:30

場所：日本医療社会福祉協会 会議室

申込み：災害対策本部までメール又は電話でお申し込み下さい。

## 新着情報 ⑤

### 被災地及び茶話会の物資調達をお願い

現在、茶話会は紙コップ・紙皿で開催をしております。

人をお招きしているという感じからはほど遠いため、人をお招きしているという感じをつくるために、茶話会用のティーカップや茶器・お盆等の寄付をお願いします。またお国自慢の品（食べ物、民芸品など）、マスク、カイロ、フェイスタオル、ユベラなどのハンドクリームなどの寄付があるとありがたいです。

#### <募集中の品>

- |          |          |
|----------|----------|
| ・茶器      | ・ティーカップ  |
| ・お盆      | ・甘酒、お汁粉等 |
| ・お餅      | ・漬物      |
| ・マスク     | ・カイロ     |
| ・フェイスタオル | ・ハンドクリーム |

## 新着情報 ⑥

### <現地の1週間>

11月28日（月）

- ・団地での自治会形成に向け行政区長と一緒に石巻市役所蛇田総合支所へ
- ・石巻市役所河南総合支所へ鍵の返却と来月の会場予約
- ・「石巻医療圏 健康・生活復興協議会」調査後の電話フォロー

11月29日（火）

- ・「石巻医療圏 健康・生活復興協議会」調査後の電話フォロー
- ・石巻赤十字病院 SW と面会
- ・団地での自治会形成に向け行政区長と一緒に石巻市役所市民協働推進課へ

11月30日（水）

- ・石巻市役所障害福祉課長へご挨拶
- ・石巻医療圏健康・生活復興協議会プレミーティングに参加
- ・石巻市役所河南総合支所ケース検討会に参加

12月1日（木）

- ・「石巻医療圏 健康・生活アセスメント」調査後のフォロー電話
- ・今週末の茶話会/相談会のチラシをポストイング
- ・「石巻医療圏 健康・生活復興協議会」に参加

12月2日（金）

- ・「石巻医療圏 健康・生活アセスメント」調査後のフォロー電話
- ・訪問相談

12月3日（土）～12月4日（日）

- ・2団地で茶話会（医療福祉・生活相談会）を開催
- ・自治会形成に向けた懇親会へ参加

# 医療福祉相談会の報告

現地担当者 佐藤 杏

12月3日・4日に9回目の仮設住宅における医療福祉相談会を実施しました。

1日目は10名、2日目は3名の方が茶話会に参加し、計13名の参加でした。

茶話会の話題は「震災時のこと」「被災からこれまでの生活のこと（避難所での生活など）」「被災前の生活」「仮設住宅の設備について」「震災へのそれぞれの思い」「仮設住宅周辺の施設について」でした。

先月、大森ささえあい拠点センターで開催した際に、隣接している団地住民の方から、自身の団地でも開催してほしいとの声が上がリ、今回開催しました。両団地ともリピーターの方も多く、再び顔を合わせることで、語られる内容もより自己開示されている印象を持ちました。

大森団地は、交通面で不便な面が多いですが、バスを利用し市内へ買い物に出る方も多いようです。ポストや街灯など生活環境の配備・設置は仮設住宅運営管理室に報告し、対応を依頼します。

茶話会の中で、個別に関わる必要があるとSWが感じる方もおり、その際にどのように取り組むかについて、市仮設住宅運営管理室や地区ミーティングで相談します。

今回、祐HCより頂いた試供品のハンドクリームと茨城県協会より頂いた支援物資の中からタオルや洋服をお配りしました。支援物資ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。



配布したチラシ&ポスター



茶話会の様子



配布した支援物資



茶話会の様子

## 現地活動報告①

草水 美代子（西片医療福祉研究会）

期間：11月27日～11月29日

今回の活動は、仮設住宅の茶話会とコミュニティ形成に向けたソーシャルワーク、石巻医療圏・健康調査後のフォローアップの電話相談、穂波の郷クリニック三浦先生及び大石SWとの懇談による情報交換でした。茶話会でうかがった生の声をお伝えします。

「多くの外部者が来てくれ、支援してくれたことに本当に感謝している。誤解を恐れずに言いたい。おれたちは見せものではない、うわべだけの情報をさらっていかないでほしい。津波の映像だけを見て、土台だけになった土地だけを見て、勝手に解釈して帰らないでほしい。津波は地震と違う。全部さらわれた。一人ひとりの人生があり、意味があることを知ってほしい。ツアーで来る人もいる。いろんな考えがあることは分かるが…。かかわるなら、きちんと向き合ってほしい。」これは、お母さんと奥さんと家を失った50歳代男性の声です。これは、被災された方が、支援者と名乗る人に関わることによって負った傷の例だと思えます。他にも、さまざまな場面で、支援者側の倫理的課題が浮き彫りになってきています。私たちは何のためにかかわるのか、何ができるのか、個別化を重要視しながら進んでいきたいと思えました。

## 現地活動報告②

高橋 聖香（亀田総合病院）

期間：11月28日～12月2日

1ヶ月前にも5日間活動させて頂きましたが、その時に比べても行政や他団体（専門職）、住民などの中でSWへのニーズが高まっているのを感じました。仮設住宅での活動に加え、在宅避難者を対象とした取組みが始まり、マンパワーはこれまで以上に必要になると思います。

活動中に参加したカンファレンスでは30件弱の新規介入者があり、加えて「来週と再来週が山になるだろう」とお話しされていました。これまでのSW人数（1～3人/日）では、毎週のカンファレンスや随時入る新規介入依頼を、実際に対応（電話相談・訪問相談）していくことは難しく、支援が行き届かない状況が発生することが懸念されました。

現地担当者が行っている業務量は凄まじく、私も少しでもその活動に参加できたらと思いました。今、本当にSWが必要で集まってほしいと心から思いました。「支援はできない」「活動したくない」というのであれば、一度活動してみることをお勧めします。正直、私も業務での体制がなければ、行ってみたいとはどこかで思いつつも、参加するまでに至らなかったかもしれません。でも、参加してみると、勉強しながらでも今の自分にできることを少しでもしたいと思えました（自分の抱える課題・必要な知識にも気がきました）。行動してみることの大切さを改めて感じています。

## 現地感想文

11月28日(月)

本日から電話相談がはじまりました。回数を重ねながら、好ましい調査→相談の流れも提案していきたいと思います。

11月29日(火)

今日は最近の中では最も暖かい一日でしたが、やはり夜は冷えます。

11月30日(水)

それぞれのカンファレンスが大幅に超過し、予定していた電話フォローの続きが全くできませんでした。せっかく4名体制だったにも関わらず・・・とても残念でした。

朝の天気予報では、沿岸部で雪！ということでしたが、夕方からの雨で終わりました。一安心です。

12月1日(木)

夕方の「石巻医療圏 健康・生活復興協議会」は21:00 過ぎまで行われました。心のケアへのつながり方やSW介入ケースの増加への対応等いくつかの課題があがってきています。来週・再来週は、今週以上に新規フォローケースの件数が多くなり

そうです。SWへの期待は高く、人員配置について早急な手当てが必要です。

12月2日(金)

電話フォロー後、訪問を希望された方がいらっしゃいましたので訪問相談へ伺いました。

12月3日(土)

今日は二人体制でした。午後からは各々別の場所で茶話会と自治組織形成のための懇談会に参加し、慌ただしく過ぎていきました。あっという間に過ぎましたが、震災を経て、日常生活を取り戻す過程でおこる様々な課題や問題を改めて知り、SWが携わることの意義や外部の人間が取り組むことの限界を痛感しました。

12月4日(日)

今日の石巻は冷たい強風でした。談話室の窓からは、すでに紅葉が終わって少し寂しい感じの山々と、風にあおられ猛スピードで進む雲が見えました。

石巻市内、海沿いで生活されていた方にとっては、この山々に囲まれた仮設での生活は厳しい冬になるのではと感じました。

## 事務所感想文

11月28日(月)

藤村(初台リハビリテーション病院)

ホワイトボードの12月カレンダーに着手できませんでした。無念です…すみません。

11月29日(火)

取手(初台リハビリテーション病院)

毎週一原さんとミニ会議を持つようになり、今後少しでも事務所ボランティアさんが働きやすいよう、また、会員の方が東日本の様子と支援状況を知るための情報発信基地となるよう、ホームページなどを見直していきます!!

12月1日(木)

原(北品川病院)

一原さんがいらっしゃり、ほんの少しのお手伝いでしたが、ご指示いただきながら作業させていただきました。

また時間をつくって伺いたいと思います。本当は現地へ行けると良いのですが…。

12月2日(金)

一原(自宅)

現地で着用していただく協会のベストを作成予定です。本日業者さんに話を聞きました。現地で自分たちの身分を証明する物になるので、1日も早く作りたいと思います。(今までなくてすみませんでした。)

12月3日(土)

藤村(初台リハビリテーション病院)

現地の佐藤さんからお電話をいただきました。現地で活動されている方のお声を聞くと、改めて身が引き締まる思いがします。自分の効率の悪さが身にしみます。もっと支援できることを増やしていきたいと思います。